

地域の皆様方と共に歩みます。
これまでも、これからも。

F U K U H O R E P O R T

CONTENTS

経営理念・福邦の心・プロフィール・当行のシンボルマーク	1
頭取メッセージ	2~3
平成11年度 業績と活動のご報告（経営環境／当行の業績）	4~5
より健全な銀行を目指して（資産の状況／資本の状況と今後の取組みについて／リスク管理体制について／コンプライアンス（法令遵守）体制／西暦2000年問題）	6~8
社会・地域とのかかわり（社会貢献活動）	9
時代の変化に対応するサービスの創造（トピックス）	10~11
主な商品のご案内（個人のお客様へ／企業のお客様へ）	12~13
主な業務のご案内（預金業務／貸出業務／証券業務／国際業務／エレクトロニック・バンキング業務／各種サービス業務・手数料）	14~17
業務・財務データ（連結財務諸表／セグメント情報／単体財務諸表）	18~25
損益の状況	26~27
預金業務	28~29
貸出業務	30~31
証券業務・国際業務・内国為替業務	32~33
時価情報	34
デリバティブ取引情報	35~36
株式・資本の状況	37
コーポレートデータ（当行の役員／当行の組織図／従業員の状況／採用人員（新卒者）／関連会社／沿革（当行のあゆみ））	38~39
ネットワーク（店舗一覧／店舗外現金自動設備設置場所一覧）	40~41

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。
本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。



経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全な経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証であり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための錬成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心	信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。
和の心	お互いの立場を理解し、喜びを分かちあう心を育てます。
進取の心	変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。
共存共栄の心	お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

福邦銀行プロフィール

本店	福井市順化1丁目6番9号
設立	昭和18年11月5日
資本金	43億円
発行済株式総数	31,800千株
店舗数	52カ店
従業員数	594名

当行のシンボルマーク

当行は平成元年にCI計画を導入し、このシンボルマークを使用しております。このマークは、顧客と当行の固い信頼関係の上に、共に発展していくため、当行のイニシャルである「F」をダイナミックにシンボル化したものです。



グリーン色の三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、顧客と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって、全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と顧客の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

私たちは「こうありたい」「こうあるべきだ」と考えております。

事業の方向性、地域とのかかわり、
そして、求められる地域金融機関となるために…。
福邦の考えすべてを今お伝えいたします。

経営の健全化ならびに効率化に努めてまいります。

現在、金融界は大きな変革の真っ只中にあります。

金融機能の早期健全化、金融システムの再構築を目的とした「金融機能早期健全化法」、全額保護解除に向けた「預金保険制度」の法的整備をはじめ、グローバル・スタンダードに基づく会計制度・情報開示基準など、金融システムの整備・構築が進められ、新しい視点に立った経営が強く求められております。

このような流れのなかで、当行はお客様のニーズにあった新商品の開発、リスク管理を一層強化するための組織改編、また、業務のアウトソーシングによる効率化などの施策をひとつひとつ着実に実行してまいりました。

特に「健全性の高い経営」を目指すため、不良資産につきましては、厳格な自己査定の結果に基づき、必要かつ適正な償却・引当を行いました。今後も皆様のご支援のもと、いかなる環境の変化にも耐えられる「経営体質の強化」に努め、皆様からのご信頼を揺るぎないものにしてまいります。



取締役頭取：三田村 俊文

総合金融サービスを提供してまいります。

当行およびグループ会社では、地域の皆様のご要望にお応えし、ゆとりある暮らしを応援するためさまざまな商品・サービスの提供に努めております。今後もお客様の視点に立ち、銀行業務を中心に、保証業務・カード業務などさまざまな分野の金融サービスを通じて、皆様の声にお応えしてまいります。

なお、当行ではグループ会社全体の業績を公開し経営状況をご理解いただくため、平成10年度よりグループ会社を対象とした連結決算を行い、透明性の高い経営に努めております。

地域の発展に最大限、努力してまいります。

経営理念にもありますように、当行は幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することが重要な役割と認識しております。福井県を中心に52の営業店舗、70カ所の店外キャッシュコーナーを設置し、幅広い店舗ネットワークを展開してお客様にとって身近な銀行となりますよう利便性の向上に努めております。

また、当行は地域金融機関として、地域の皆様に必要な資金を円滑に供給するという役割を持っております。中小企業のお客様には、一般のご融資をはじめ県・市町村の制度融資などを、個人のお客様には、目的に合わせてご利用いただけるローンを提供しており、多くの皆様にご利用いただいております。その結果、全貸出金に占める福井県内の貸出金の比率は、平成11年3月末の83.2%から平成12年3月末は84.1%へと高まっており、地域に密着した貸出構成となっております。

地域に貢献し地域とともに発展していくという当行の姿勢は、金融環境の変化するなかにおいても変わることはありません。今後ともあらゆる面から地域経済・社会の一層の発展に貢献してまいります。



信頼され親しまれる魅力的な地域金融機関を目指してまいります。

当行は、平成10年度から「イノベーション INNOVATION」をテーマに“Fukuho第四次中期経営計画”をスタートさせております。

この中期経営計画では、当行の置かれている環境や課題を踏まえ「地域のお客様に支持される、信頼と満足のリテールバンク」を目指しております。

どうか今後の当行のさまざまな活動にご期待いただき、一層のご信頼・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

